

## 平成 26 年度第 2 回いわき市食育推進委員会 議事録

1 開催日時： 平成 27 年 2 月 13 日（金）14：00 ～ 16：00

2 開催場所： 総合保健福祉センター 3階 健康学習室

3 議事案件及び発言内容等：

(1) 開会

(2) 議事

### ① 平成 26 年度食育推進事業の実施（中間）報告について

|      |   |
|------|---|
| 委員長  | はじめに、「平成 26 年度食育推進事業の実施（中間）報告について」事務局より説明をお願いします。   |
| 事務局  | （資料 1、資料 2、資料 3、資料 4、資料 5 に基づき説明）   |
| 委員長  | 事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。  |
| 委員 A | 資料 2 について、食育モデル事業「健やか幸せ長寿食！料理教室」に参加した人の家族構成が知りたい。高齢・単身生活者の参加も重要だと思う。また、事業目的の一つである健康寿命の延伸のためには、食事、運動はもとより、メンタル面も含めた食育が必要となってくるのではないかな。                       |
| 事務局  | 参加者の年齢については把握しているが、家族構成までは調査していない。60 歳代以下の参加者は高齢者の家族と思われる。また、このような事業に参加される人は、食事や健康等に関心・意識の高い人が多く、メンタル面は問題がないといえるかもしれないが、精神的なケアについても、考慮できる部分は対応していきたいと考えている。 |
| 委員 B | 資料 5 について、P 4 の「学校給食見える化事業」の参加者数を教えて欲しい。放射性物質に対する不安を持つ保護者に対して、このような事業で払拭を図ることは大切だと思う。   |
| 事務局  | 1 月 23 日は 17 名、2 月 13 日は 10 名程度の参加があった。   |
| 委員 C | 資料 3 について、「いわき野菜アンバサダー」として認定後、どのような事業活動を行うのか。   |
| 事務局  | セミナーを受講し、認定証を受けた方に、いわき産の農作物のおいしさや安全性を、SNS や 口コミ 等を通し、できる範囲で情報発信していただくことになる。   |

### ②食育フェスタの事業実施報告について

|     |  |
|-----|--|
| 委員長 | 続いて、「食育フェスタの事業実施報告について」事務局より説明をお願いします。 |
| 事務局 | (資料6に基づき説明)                            |
| 委員長 | 事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。     |
|     | (質問、意見等なし)                             |

### ③いわき市食育推進ボランティア団体の登録状況について

|     |  |
|-----|--|
| 委員長 | 続いて、「いわき市食育推進ボランティア団体の登録状況について」事務局より説明をお願いします。 |
| 事務局 | (資料7に基づき説明)                                    |
| 委員長 | 事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。             |
|     | (質問、意見等なし)                                     |

### (3) その他

|      |   |
|------|---|
| 委員長  | 続いて、「その他」事務局より説明をお願いします。  |
| 事務局  | 平成26年3月に「第2次いわき市食育推進計画」が策定され約1年が経過したが、計画の基本理念・目標を達成するため、日々食育に取り組んでいる委員の皆様に、それぞれの立場から食育推進の状況や何かお気付きの点等のご意見を頂戴したい。            |
| 委員 D | いわき商工会議所では、地元の食材をできるだけ使ってもらいたいとの思いから、風評被害払拭のため、市外で活動を行っている。今後も食育についての理解を深めていきたいと思う。   |
| 委員 E | 私の所属する団体においては、収穫から調理、食べるまでの親子の農業体験事業を実施しているが、参加している親子のように、市の食材に不安を持たない人がもっと増えて欲しいと思う。                                       |
| 委員 B | 買い物の時、同じ品物で県内産のものが、県外産と比較し、かなり安い価格になっているのを見ると、もっと学んで、県内産の安全性を伝える必要性を感じる。<br>いわき市健康推進員協議会では、調理実習や講話の要望があれば喜んで協力していきたいと考えている。 |

|      |  |
|------|--|
| 委員 F | <p>幼児教育者や介護福祉士を養成する学校で働いているが、学生生活アンケートで、朝食を欠食する学生は、退学したり、通学しなくなる傾向があるので、教員の間では、学生にいかにして朝食を摂らせるかが課題となっている。</p>  |
| 委員 G | <p>いわき市漁業協同組合では、試験操業でとれた魚を使つての料理講習会や海洋大学の文化祭、築地でのイベント等を通して、風評被害払拭に向けて努力している。現在58種の魚が国基準値100ベクレルより低い50ベクレル以下の販売となっている。今年9月から徐々に販売量も増えていく予定であるが、流通されている魚は、完全とっていいほどの検査を受けているものであり安心して買ってもらいたい。</p> |
| 委員 H | <p>仮設住宅での調理実習・栄養相談をした時の体験では、入居者が、ストレスはあるものの、適度の運動を行い、栄養バランスに気を付けた食事を摂って、元気に生活していることが印象に残った。また、子育て支援では、親子料理室において、若い父親が一生懸命参加していたのが印象的だった。栄養士会では、今後もこのような支援事業に力を入れていきたいと思う。</p>                    |
| 委員 I | <p>流通している福島県産の食材は、十分な検査を行い、安全であるといえるが、安全と安心は異なり、風評被害の払拭はなかなか難しいと感じている。小学校における高校生との給食交流会において、震災後はスクールランチだった現在の高校生が給食を食べ感動しているのを見ると、早く安全と安心の隔たりがなくなって欲しいと思う。</p>                                   |
| 委員 J | <p>家庭教育の充実を目的とする母親委員会では、食育について、栄養士の講演を受けて、保護者どうして話し合うという活動も行った。</p> <p>市の食育事業も学校に対しいろいろ行っているが、より多くの方に参加してもらおう工夫が必要かもしれない。</p> <p>また、最初は小さな単位からでも、できることから始めて、根強く行えば、大きな力になるのではないかと思う。</p>         |
| 委員 A | <p>風評被害については、日々の生活では、それほど感じなくなっているが、県外に行った時、福島食材に抵抗がある話を聞くと、まだまだ時間がかかると感じる。</p> <p>また、健康・長寿のためには食が重要である。健康・長寿について関心が高まっている今日、食育を推進することは大切だと思う。</p>   |
| 委員 K | <p>お正月や節分等の年中行事は、季節を感じながら楽しく食育を学ぶいい機会だと思う。</p> <p>市の事業である、いわき野菜アンバサダーのセミナーや食育フェスタにも参加したが、楽しく学ぶことができた。</p>  |

|      |  |
|------|--|
|      | <p>昔と比べると、保育所・小学校等でも食育について積極的に行っており、小さい頃から食育に親しむことで、食育が広がっていくのではないかと期待している。</p>  |
| 委員 L | <p>市の事業実施報告について興味深く聞かせてもらったが、「食べる」というところに重きがおかれている印象であり、歯磨き等「食べた後」までのフォローアップまで必要ではないかと思う。</p> <p>現在、福島県の子どもが一番虫歯が多く、虫歯の減少のペースも遅い。健全な食生活によりきれいな歯を持っている子がいる一方、ひどい虫歯の子もたくさんおり、格差も進んでいると感じている。</p>   |
| 委員 M | <p>市の食育事業は、料理教室やイベント等で食育を推進する試みは実践されていると思う。個人的には、楽しい買い物が体験できれば、家に帰って楽しい調理につながっていくので、スーパー等と連携した食育も考えてみたら良いと思う。</p>  |
| 委員 N | <p>国の職員としていわき市に赴任し2年になるが、市の各団体の食育活動は活発であると感じている。</p>   |
| 委員 C | <p>風評被害については、食材を提供する側からすれば安全であることはわかっているが、他の地域の人にとっては、必ずしもいわき市の食品を使う必要はなく、いわき市民、特に小さい子供のいる家庭において、地元産を敬遠している現状を鑑みると、まだまだ、アピールしていく努力が必要と感じている。</p>   |
| 委員 O | <p>現在保育所では、以前にも増して食育に重きをおいている。保育の食に関する担当部門では、保健衛生面やアレルギー対応、調理等、調理師や栄養士に対する内部研修が多いが、今後は、保護者向けの取り組みを検討していきたい。</p> <p>また、市の事業報告に高校生が給食メニューをつくる連携事業があったが、保育所給食でもできたら良いと思った。</p>  |
| 委員 P | <p>先日、「食品に関するリスクコミュニケーション」という講演会にコーディネーターとして参加した。現在、表立って放射性物質に対する不安を口にする人は、少なくなっているが、無記名でアンケートをとってみるとまだ不安に思っている人は多い。</p> <p>また、インターネット等を利用する若い世代は、情報が多すぎてどれを使えばよいかわからないという声がある一方、高齢者にはあまり情報が届かないという状況があり情報がきちんと届く取り組みが必要である。県外からの参加者もいたが、県外では福島の実況が正しく伝わっていない部分もあり、行政に対する信頼回復も含め、正確な情報発信を考えていかなければならないと思う。</p> |

|      |   |
|------|---|
|      | <p>また、市で実施した食育フェスタのように、親子で食育を楽しく学べる機会がもっと増えたらと感じている。</p>  |
| 委員 Q | <p>幼稚園行事における芋ほり等の農業体験は、作る、採る、食べるから残飯処理、堆肥利用まで、食の一連の過程が学べる貴重なものであるが、検査や保護者の不安等に配慮しながら、段階を踏んで実施している状況であり、早く震災前のもとの状況に戻したいと思っている。</p>  |
| 委員 R | <p>年配の方は、いわきの食材について抵抗がない場合も多いが、小さい子供がいる家庭では将来の事を考え心配なのだと思う。早くいわき産の食べ物を安心して消費できるようになって欲しい。</p>   |
| 委員長  | <p>各委員のご意見に対し何か質問、意見等あれば発言をお願いします。</p>  |
| 事務局  | <p>貴重なご意見を今後の事業に反映させていきたい。また、皆様のお話を伺い感じたことを述べたいと思う。</p> <p>現在一年中いつでも手に入る食べ物も少なくないが、本来、季節に応じた食べ物には、いろいろな背景を伴うものであり、市の事業においても、そのような季節に対する感受性を失わないよう季節感を大事にしていきたい。</p> <p>また、個々人の意識の面についても、格差が広がっており、市の事業等に積極的に参加するような関心の高い人だけでなく、関心の低い人にいかにアプローチするかが課題と言える。</p> <p>風評被害については、難しい問題であるが、安易に人の話を鵜呑みにせず、自分で考え、判断する力を養ってほしいと思う。</p> |

#### (4) 閉会